

平成30年度事業報告書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

1. 会議に関する事項

(1) 通常総会の開催

平成30年5月15日(火)大阪府箕面市温泉町1-1「箕面観光ホテル」において開催され、全議案について審議議決した。

(議案)

- 第1号議案 平成29年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成29年度収支決算報告承認の件
- 第3号議案 平成29年度監査報告の件
- 第4号議案 平成30年度事業計画承認の件
- 第5号議案 平成30年度収支予算案承認の件
- 第6号議案 役員改選の件
- 第7号議案 その他

(2) 理事会の開催

開催回数	開催年月日及び場所	出席者数	議案	議決の結果
①	30年5月11日	書面	1. H29年度決算報告書の承認	可決
②	30年5月15日 箕面観光ホテル	9人	1. 代表理事(会長)選定並びに承認 2. 専務理事及び副会長選定並びに承認	可決
③	29年11月30日	書面	1. 平成30年度上半期業務報告書の承認	可決
④	29年12月28日	書面	1. 外国人技能実習制度の対象職種に「ほうろう加工」を追加する活動を進める件の承認	可決
⑤	30年3月12日 TKP名古屋ルーセントタワー 16F ミーティング ルームD	8人	1. H30年度事業概況報告について 2. H30年度収支決算見込みについて 3. 2019年度事業計画案及び収支予算案 4. 2019年度通常総会開催の日時及び開催場所について 5. 総会までの間の工業会経費暫定支出について 6. 役員交代と新役員選任について	可決 可決 可決 可決 可決 可決

2. 事業の実施状況

(1) 工業会の運営に関する件

i) 会員の退会・入会

退会 賛助会員 (株)森本製作所様 (H31年3月末)

入会 無し

現会員数 正会員 14社 賛助会員 8社 計 22社

ii) IEI (国際ほうろう協会) に関して

① 第24回国際ほうろう会議がアメリカシカゴで2018年5月28日～6月1日に開催され、高野会長出席。同時にIEI総会が開催され、2021年開催第25回ほうろう国際会議(京都開催)の概要計画について東罐マテリアル・テクノロジー(株)福田部長より報告した。

② 2021年第25回国際ほうろう会議の日本開催準備に関する活動。

H30年10月4日	国立京都国際会館会場の視察(4名)
H30年11月13日	国際ほうろう会議の日程、IEI総会、工場見学先の検討(5名)
H31年2月19日	国際ほうろう会議の検討項目の打合せ(4名)
H31年3月26日	国際ほうろう会議の詳細(登録費、募集要領、工場見学等)検討事項の打合せ(5名)(添付資料①②⑩を参照)

iv) 外国人技術実習制度への取組みに関して

ほうろう加工現場の人手不足対策として外国人技術実習の対象職種に「ほうろう加工」を追加することを目的として検討を進めたが、厚生労働省人材開発統括官宛に職種追加の申請が必要であり、その申請項目の要件が厳しいため当工業会の現状では要件をクリアするのは難しいと判断し検討は中断することとした。外国人材受入に関する新制度については、経産省生活製品課との情報交流を進める。(添付資料③を参照)

v) 中小企業庁【中小企業経営強化法】証明書発行業務に関して

中小企業経営強化税制の拡充による器具備品の品目が追加され、工業会がその認定業務(証明書発行)の委託を受け中小企業庁に報告。

平成30年4月より申請件数 0件

(2) 技術・技能の向上に関する事項

i) ほうろう技能検定試験に関する活動(技術委員会)

第3回ほうろう技能検定試験は、H31年1月26日(土)に学科試験(3会場)を2月16日(土)に実技試験を東罐マテリアル・テクノロジー(株)小牧工場にて実施した。18名が受験し、11名が合格。合格者にはそれぞれ合格認定書を授与した。

(活動内容は添付資料④を参照)

ii) JIS S 3012(家庭用ほうろう器物)の改正に関する活動(技術委員会分科会)

JIS S 3012:1998 版の改正について、日本規格協会(JSA)の公募制度(H30区分A)を利用して改正する方針で活動を実施。本委員会4回(内、電子書面1回)、分科会3回(内、電子書面1回)を開催し、改正原案を作成し、期限内(2月末)に成果物を提出した。(活動内容は添付資料⑤を参照)

iii) 技術講演会の開催

(公社)日本セラミックス協会珪瑯部会と共催で、平成30年11月10日(金)に(一財)ボーケン東京事業所セミナールームにて、下記内容で技術講演会・交流会を開催した。

	講演会演題	講演者
①	『国際珪瑯会議報告』	東罐マテリアル・テクノロジー株式会社 岩田 直親 氏
②	『ボーケンの紹介および試験室見学』	一般財団法人ボーケン品質評価機構 大口 達郎 氏
③	『珪瑯用鋼板の現況と製造技術』	新日鐵住金株式会社 技術開発本部八幡技術研究部 楠見 和久 氏
④	『次世代珪瑯の検討に向けたSWOT分析』	ほうろう技術研究会一同 リーダー：松野昌幸 氏 他

iv) 日本セラミックス協会珪瑯部会幹事会の開催

次の通り3回開催された。

①	年月日 場 所 議 題	平成30年4月18日(金) 中小企業振興会館(吹上ホール)(名古屋) (1)平成29年度事業報告、決算報告 (2)平成30年度事業計画の打ち合わせ (3)ほうろう技術研究会進捗報告 (4)平成30年度技術講演会の打合せ、他
②	年月日 場 所 議 題	平成30年6月28日(木) ボーケン品質評価機構東京事務所(東京) (1)技術講演会に関する打ち合わせ (2)「ほうろう技術研究会」進捗報告 (3)ISO4531規格投票関連報告 (4)IEI(国際ほうろう会議)報告 (5)都立産技研センターの「技術セミナー」他
③	年月日 場 所 議 題	平成30年8月6日(月) プラトンセンター淀屋橋(大阪) (1)珪瑯部会技術講演会打ち合わせ (2)セラ協会長・支部会意見交換会報告 (3)セラ協関連報告 (4)「ほうろう技術研究会」進捗の報告 (5)ISO規格投票関連報告他

v) ISO/TC107規格国内委員会の活動

① TC107/WG2 ほうろう部門の国内委員として、ISO規格に対する国内検討並び

第1号議案

に投票を実施（主に電子投票）。（投票内容、関連資料として添付資料⑥を参照。）

- ② ISO規格検討専門委員会への出席。2回（開催：H30年10月16日 表面技術協会、H31年2月5日 表面技術協会）
- ③ 2019年ISO/TC107総会（韓国）2/25～2/28日開催された。

vi) 都立産業技術研究センターへの技術相談について

- ① 爪飛び対応について進展無し。
- ② 「ほうろう技術セミナー」開催への協力要請（添付資料⑦を参照）
講演案 ①ほうろうについて（特性、製品、製造）
②家庭用ほうろう器物のJIS規格改定について
③トピック的なほうろう製品の紹介

(3) 環境対策

ほう素ふっ素の暫定排水基準値、H28年7月～H31年6月の暫定値は、ほう素(40ppm)、ふっ素(12ppm)。

i) 環境対策への活動

①	フォローアップ調査票（業界団体用、個別事業者用） 調査票提出 平成30年9月7日（電子書類）									
②	平成30年度第2回排水処理技術検討会 年月日 平成30年11月15日 場 所 経済産業省別館 11階 1111 各省庁共用会議室 議 題 29年7月以降の各事業所の対応並びにH31年以降の暫定基準について委員ヒアリング *3事業者、1アドバイザー並びに事務局がヒアリングに出席									
③	委員指摘事項：処理の迅速化、処理排水の平準化。対応検討中。									
④	2019年7月暫定排水基準の見直しについて 平成31年2月28日に開催された第28回中央環境審議会水環境委員会において見直し案（2019年7月～2022年6月）が下記内容で答申された。 （添付資料⑧を参照） 内容) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">ほう素</th> <th style="text-align: center;">ふっ素</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">ほうろう鉄器製造業</td> <td style="text-align: center;">40ppm</td> <td style="text-align: center;">12ppm</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ほうろううわ薬製造業</td> <td style="text-align: center;">10ppm（一律基準）</td> <td style="text-align: center;">8ppm（一律基準）</td> </tr> </tbody> </table>		ほう素	ふっ素	ほうろう鉄器製造業	40ppm	12ppm	ほうろううわ薬製造業	10ppm（一律基準）	8ppm（一律基準）
	ほう素	ふっ素								
ほうろう鉄器製造業	40ppm	12ppm								
ほうろううわ薬製造業	10ppm（一律基準）	8ppm（一律基準）								

(4) 安全対策事業

i) 器物部会開催

① 平成30年5月28日 日本珪瑯工業会にて開催（出席 4名）
討議事項

(1) IH 認定マーク試験と契約更新について (2) JIS S3012 (家庭ほうろう器物) 改正と今後の課題について (3) 都立産業技術研究センターからの「ほうろうセミナー」の提案について (4) ISO4531 改正の動向、食品衛生法改正について
② 平成 30 年 11 月 12 日 日本珪瑯工業会にて開催 (出席 3 名)
討議事項 (1) 消費者庁による家庭用品表示法に関する調査・ヒアリングに協力 (2) JISS3012 改正原案について (3) IH 認定マークの規定について
③ 平成 30 年 12 月 20 日 日本珪瑯工業会にて開催 (出席 5 名)
討議事項 (1) JIS S 3012 改正原案について (2) IH 認定マークの規定の改訂について (3) ISO4531 「食品に接するほうろうからの有害成分の溶出」について

ii) 平成 30 年度 IH 認定マーク承認検査試験実施。

日用金属製品検査センター、瀬戸窯業技術センターに試験を委託。

IH 認定マーク・安全マーク (S マーク) の契約書を締結した。

iii) IH 調理器具に関する試験実施。

JIS S 3012 改正に伴い IH 認定マーク規定の改訂に関する試験を下記の通り実施。

	試験内容 (期間)	試験機関	件数
①	IH 有効径と IH 入力電力の確認試験 (H30 年 7 月～8 月)	日用金属検査センター	8 点
②	板厚 0.8mm20～22c,m 鍋の IH 湾曲試験 (H31 年 2 月～3 月)	日用金属検査センター	4 点
③	板厚 0.8mm15～18c,m 鍋の IH 湾曲試験 (H31 年 3 月)	日用金属検査センター	4 点

(5) 消費者対策

消費者、消費者センターからの相談、事業者からの相談、メーカー紹介等の問い合わせに対応した。平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月までに 40 件の問い合わせを受け対応した。(添付資料⑨を参照)

(6) 情報サービス

- i) ほうろう鉄器出荷統計、鋳物ほうろう浴槽出荷統計のまとめと関係先への配布。並びにほうろう部品に関する燃焼機器出荷統計のまとめを関係先に配布。
- ii) 工業会の情報開示のホームページ更新。お知らせ覧での情報提供により珪瑯の普及、啓発に努めた。HP 閲覧アクセス数 2,000～3,000 件/月です。

(7) 関連業界との交流

関連業界との連絡協調を図るべく、ガラス、陶磁器、ガス、石油機器、アルミ製品、ステンレス製品等の業界で組織する、日用品工業団体協議会並びに全国中小企業団体中央会の研修会、講演会に参加。また、キッチンメーカー、浴槽メーカー等で組織されるキッチンバス工業会の行事（台所・お風呂の川柳：平成30年11月2日表彰式）に参加することでほうろう製品の普及を図った。

以上